

興味と読書 タイトルが平凡過ぎます。もっと考えてください。

削除: 題)

何の為に本を読むのだろう。(省ける主語は、極力削除する。声に出して読むと、  
いらぬことがよくわかります)(この出だしは読者にはインパクトがありません。

削除: 自分の

削除: 僕は

独白は文章全体をあいまいにしています) 最近良く読

む本は人物伝だ。(「本」と「人物伝」はダブリの表現) 特に苦境に立たされながらも

立ち向かい、成功した人物の自伝が多い。(立ち向かいのあとに、読点を入れる)、

(多くの自伝から、) 自分も頑張ろうとの気合をもらおう。

削除: 読んで

削除: いる最中や直後は

削除: 感化される

書くのなら「私」元来自分に自信がなく、自信を

つけるには仕事に成功することが一番の近道と

思っている。この一文は回りくどい。自信がない。だから伝記を読む。この感じをシ

削除: から読む

ンプルにまとめること。 人物伝を読んでやる気を出

削除: 僕は

し、仕事上のエキスになる事を探し

削除: 自分の

ている。仕事に通じるという意味では、ビジネ

削除: 読書を通じ

ス書の類も良く読む。

削除: しかし、

最近になって、仕事の為の読書ばかり

でいいのか が 疑問に思えてきた。文学書、哲学書、

歴史書やミステリー等は興味 が あった。しかし 仕事

削除: は

と直結しないので敬遠してきた。仕事の為の読

削除: が、

書と平行して、自分の興味のあるジャンルの読書

も行いたい。人間の興味は無限であり、これを

押し殺す必要はなく、むしろ大切にしていきたい。

自分の興味を追求するよ

削除: 大切にし、その興味を

うな読書をしていけば、結果として人間の器を

大きくする の だと思う。

削除: ん

全体に一文が長過ぎます。だから同じような単語が一文に何度も登場するわけです。

これを修正すること。後半は当たり前すぎて、まったくインパクトがない。

Mさんは何を伝えたかったのか。Mさんの「興味」がどこにあるのかも

明確に説明されていません。これでは読み手に感動は伝わりません。全体にだらだら

と書いているだけで、まとまっていません。

書く前に構成を整理すること。ある一冊を読んで世界が変わった。だからあらゆるジ

ャンルを読もうと思った。仕事に直結していない世界でも、必ず自分の知になるもの

がある。

こんな展開なら分かりやすいのですが。事、為などは新聞ではどう書いてあるかを調

べてみてください。次回の課題は「季節」400字でまとめてください。(藤光 伸)

削除: 以上、400字。